

大学生向けインターンシップ取組例

1 東海地域インターンシップ推進協議会

平成11年5月に協議会設立。

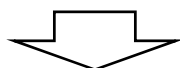
愛知県、岐阜県、三重県の大学、短期大学及び高等専門学校の高教育機関と産業界が相互に協力して、インターンシップの実施、情報収集・提供・研修会開催などを行っている。協議会の会長は、名古屋大学総長。

平成26年度、本県内では名古屋大学始め21大学・高等専門学校がインターンシップ実施事業に参加している。

■ 26年度活動概要（東海3県の会員実績）

(1) インターンシップのマッチング

応募学生数	324名（24大学・高等専門学校）
応募企業・団体	45社・団体 571名



相手先確定学生数	185名（22大学・高等専門学校）
受入企業・団体	19社・団体

○ 募集・研修活動、マッチング情報交換会・事前研修会の開催

募集段階で、企業団体向け及び大学担当者向けのガイダンス、大学と企業とのマッチング情報交換会を開催し、インターンシップ先が確定した学生向けには事前研修会を実施している。

最近の状況・傾向

- ・ 応募学生数は、昨年度比で約3.5割増。
- ・ 応募企業・団体数は昨年度比で微減。応募企業のうち8割以上がサービス業。
- ・ 県庁、市役所を始めとした公的機関へのインターンシップ希望が非常に多い。
- ・ 学生にとって知名度が低いものづくり企業、中小企業への希望は少ない。

(2) ワークプレイズメント（有給インターンシップ）※の実施

（※ 学生が企業で企画提案や課題解決など、有給で責任のある実務を体験。学生の経済的負担がないため、長期の取組が可能。）

参加学生数	140名（28大学、6専門学校 ※協議会非会員含む）
受入企業	49社

注）長期プログラム（年間11日以上）の実績

○ 信用金庫との共同セミナー開催

岡崎信用金庫と共同で、有給インターンシップ・ワークプレイスメントセミナーを開催している。

最近の状況・傾向

- ・ 応募学生数は、昨年度比で約 1 割増。
- ・ 応募企業・団体数は昨年度比で約 2 割以上増。
- ・ 名城大学が、平成 26 年 7 月に正規の教育課程として位置づけ単位化。
- ・ 学生にとって知名度が高くない中小企業にも学生が応募。民間への外部委託により三重県（Uターン人材確保）、大阪府（外国人留学生の定着化）実施。

2 愛知中小企業家同友会インターンシップ

平成 10 年度から、「直接採用の手段としない」、「学生は、アルバイトでも新入社員でもない“研修生”」の 2 本の柱に基づき実施。

同友会の会員を受入企業として、愛知県、岐阜県の大学及び短期大学の学生のインターンシップを実施している。

■ 26 年度活動概要

参加学生数	91 名（14 大学）
受入企業	40 社

○ 受入企業会議、キックオフセミナーの開催

大学宛に案内、企業宛に受入依頼をした後、受入企業会議を開催し企業に対し事前準備を促している。参加学生向けには、前年度インターンシップを経験した学生が実行委員会を構成してキックオフセミナーを開催している。

最近の状況・傾向

- ・ 応募学生数は増加傾向。
- ・ 受入企業数はもう少し増やしたいが厳しい状況。
- ・ 受入企業中、製造業の企業も一定数存在。
- ・ 「研修」としての受入が徹底されているため、学生の感想・評価は良好。